

令和8年度 鶴居村予算は 62億251万円

村が行うさまざまな事業は、みなさまに納めていただく税金や、国・道からの補助金などを財源として実施しています。

今回の特集では、令和8年度にどのような事業に、どれだけの予算を充てるのか、その概要をお知らせします。

※金額は千円単位を四捨五入して万円単位で統一しています。

会計別予算額と前年度比較

会計名		8年度当初	7年度	増減率
一	一般会計	51億5,600万円	50億2,100万円	2.7%
事業 会計	簡易水道事業	1億2,951万円	1億5,762万円	△17.8%
	農業集落排水事業	1億0,640万円	9,219万円	15.4%
特別 会計	国民健康保険	3億4,970万円	3億4,420万円	1.6%
	村立診療所	9,350万円	3,570万円	161.9%
	介護保険	3億0,740万円	2億9,540万円	4.1%
	後期高齢者医療	6,000万円	5,320万円	12.8%
	事業・特別会計小計	10億4,651万円	9億7,831万円	7.0%
合計		62億0,251万円	59億9,931万円	3.4%

※水道・農業集落排水事業は、令和6年4月1日から公営企業法適用事業となり、特別会計から事業会計へ移行しました。
※村立診療所は令和8年4月1日から指定管理による運営から直営による運営へ移行しました。

■一般会計の歳入

村税は、4億680万円とし、前年度対比で0.9%の増額で見込んでいます。

歳入の中で最も大きな割合を占める地方交付税は、国の地方財政計画などにに基づき、23億4,950万円を見込んでいます。

国・道支出金は、子ども・子育て事業、橋の改修、農林業事業など、村で実施する様々な事業に対する補助金等により、3億9,407万円としています。

諸収入は、臨時的投資的経費等の財源として備荒資金から2億7,000万円を取崩すことなどにより、全体で2億9,576万円を計上しています。

その他収入としては、公共施設整備の財源とする基金等からの繰入（貯金の取崩し）、ふるさと納税寄附金等、全体で2億4,187万円を計上しています。

村債（村の借金）は、総合センター機能改善事業、消防ポンプ自動車購入事業、中雪裡下久著呂線改良舗装事業の財源として7億8,720万円としています。なお、借り入れる村債は、返済額の一部が後年度に地方交付税で措置される過疎対策事業債など、財政負担の軽減につながる有利な地方債を活用しています。

■一般会計の歳出

人件費、公債費（借入金の返済）、扶助費（福祉に関する経費）で構成される義務的経費は、主に人件費の増加や、過去に借り入れた村債の償還開始に伴う公債費の増加により、前年度比4.6%増額の17億6,150万円となっています。

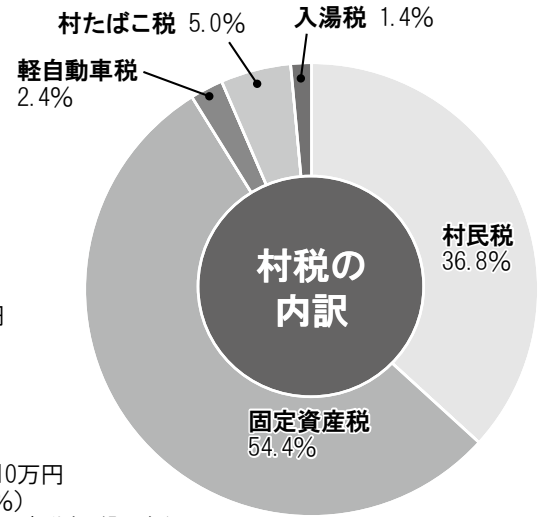
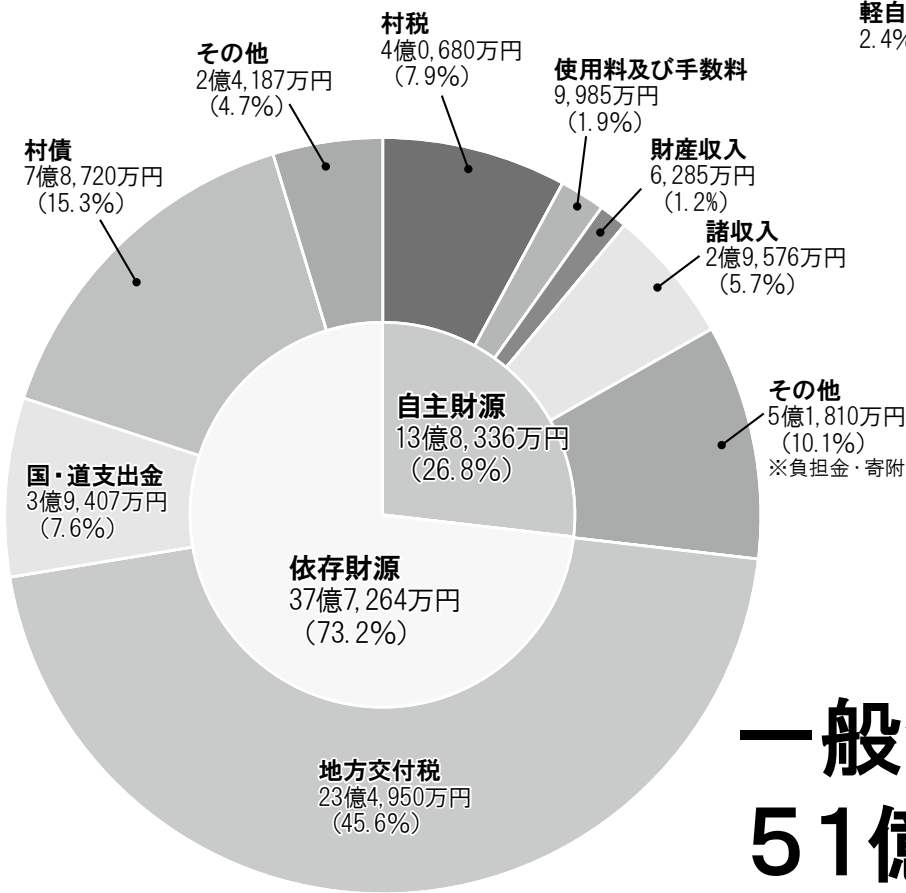
投資的経費（普通建設事業費）は、総合センター機能改善事業、庁舎・総合センター冷房設備整備事業、道営草地・農道整備事業、林業専用道開設工事、中雪裡下久著呂線改修工事などにより総額で11億3,374万円を計上しています。

物件費は、各公共施設の管理経費のほか、保育園・小中学校の給食費無償化事業、第6次鶴居村総合計画策定事業、行政システム標準化移行事業などにより、9億2,453万円となっています。

補助費等は、子ども・子育て、介護福祉、公共交通、農林産業、商工関連などの各種補助金や、釧路北部消防事務組合負担金などとして、9億1,356万円を計上しています。

また、積立金はふるさと納税寄附金等の積立額を計上し、1億3,177万円となっています。

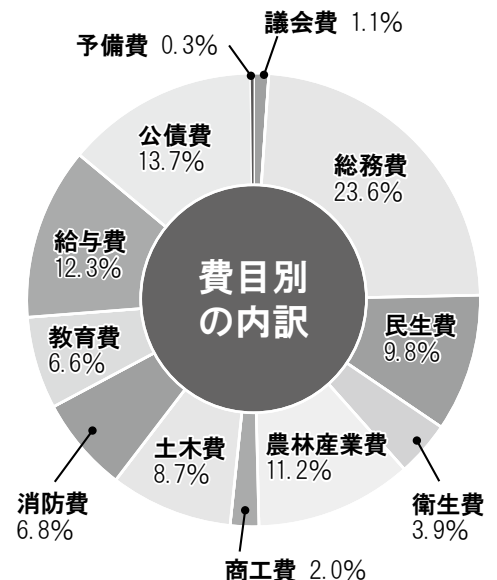
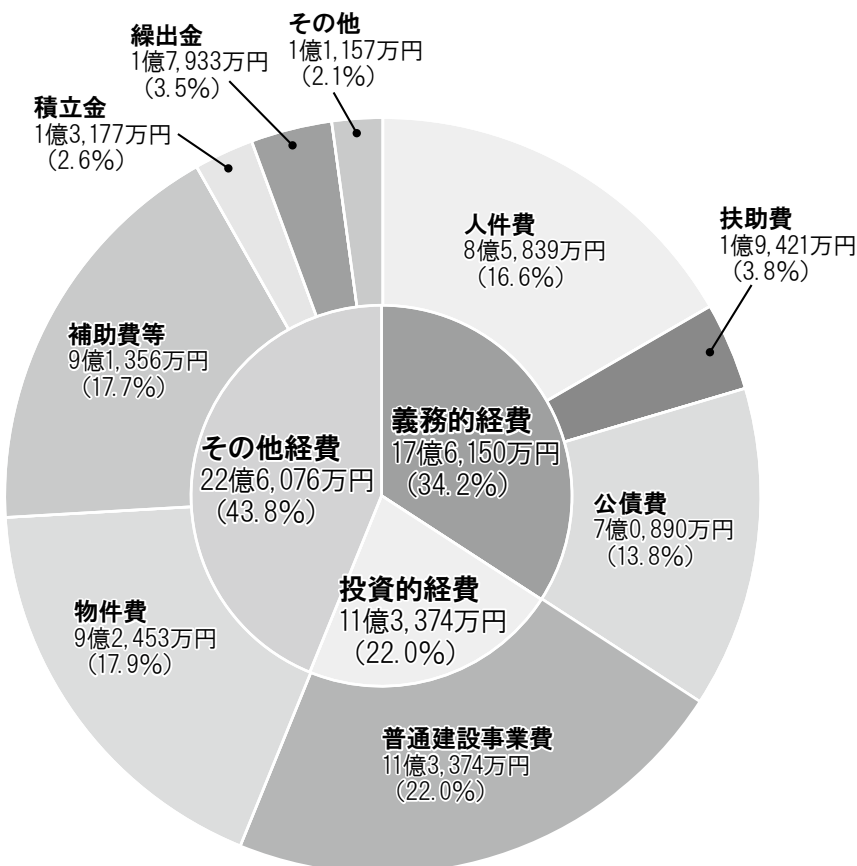
一般会計歳入予算の内訳



一般会計の総額は 51億5,600万円 (前年比+2.7%)

※自主財源は村が自ら確保する収入、依存財源は国や道から配分される収入や借入金です。

一般会計歳出予算の内訳



基金等の積立額

村民1人あたりでは、316万円の貯金額

基金等名		7年度末の現在高
財政調整基金		9億9,930万円
減債基金		4億0,772万円
特定目的基金	振興基金	13億6,088万円
	ふるさと創生基金	2,800万円
	地域福祉基金	4,489万円
	酪農振興基金	2億0,906万円
	酪農教育振興基金	2,796万円
	中山間ふるさと水と土の保全基金	1億3,010万円
	運動広場振興基金	2,468万円
	鶴の居る村基金	2億2,065万円
	スポーツ振興基金	7,740万円
	笑顔が輝く移住定住応援基金	7,884万円
	公共施設等整備基金	20億1,079万円
	森林環境譲与税基金	5,676万円
土地開発基金	4,130万円	
会特別計別	国民健康保険財政調整基金	1,748万円
	介護保険準備基金	4,885万円
計		57億8,466万円
北海道市町村備荒資金組合基金		16億7,342万円
合計		74億5,808万円

村債の残額

村民1人あたりでは、300万円の借金額

会計区分	7年度末の現在高
一般会計	67億9,057万円
簡易水道事業会計	2億0,478万円
農業集落排水事業会計	7,987万円
合計	70億7,522万円

村民1人あたりの金額は、本年3月31日の住民基本台帳人口2,361人（外国人56人を含む）で算出しています。

貯金(基金等)と借金(村債)の状況

■基金等

予算の不足や村債の返済、特定の目的などのために村では基金を設置しています。令和7年度末では一般会計と特別会計を合わせて17基金あり、現在高の合計は57億8,466万円となっています。

また、大規模な災害や臨時的な支出などに備えて、村の基金とは別に北海道市町村備荒資金組合が運用する備荒基金への積み立てを行っており、令和7年度末の現在高は16億7,342万円となっています。

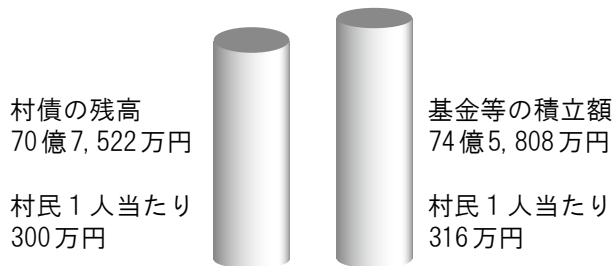
基金と備荒資金を合わせた総額は74億5,808万円であり、村民1人あたりに換算すると316万円の貯蓄額となっています。なお、令和8年度予算では事業などの財源として一般会計で基金から2億9,821万円、備荒資金から2億7,000万円を取り崩す予定です。

■村債

村債の令和7年度末の現在高は一般会計で67億9,057万円、水道及び農業集落排水事業会計で2億8,465万円、合わせて70億7,522万円となっています。村民1人あたりに換算すると300万円の借金額となっています。

令和8年度予算では総合センター機能改善事業、消防ポンプ自動車購入事業、中雪裡下久著呂線改良舗装事業の財源として全会計で7億9,240万円の借入れを予定しています。

一方、村債を返済する元利償還額は全会計で7億3,258万円であり、村民1人あたりに換算すると年額で31万円ほどの返済額となりますが、借入額の約7割は地方交付税などに算入される仕組みになっています。



用語の解説

□ 歳入（1年間のすべての収入）

- 【自主財源】自前で収入できるお金
- 【依存財源】国や道から交付されたり、借りたりするお金
- 【使用料及び手数料】公営住宅の家賃、公共施設の利用料、各種証明による収入など
- 【財産収入】村の土地・建物の貸付や売払いによる収入など
- 【繰入金】各種基金を取り崩して繰り入れるお金など
- 【地方交付税】所得税など国が徴収した税金の中から、市町村の財政規模に応じて配分されるお金
- 【村債】公共施設の建設など、村が一度に多額の出費が必要な場合に認められる長期借入金
- 【国・道支出金】国や道の決めたルールにあった仕事をする場合などに、必要な費用の一部または全部が補助されるもの

□ 歳出（1年間のすべての支出）

- 【義務的経費】法令あるいは性質上支出が義務付けられたお金
- 【投資的経費】道路や建物の建設、用地の購入など村民の財産として将来に残るものに支出されるお金
- 【公債費】借り入れた村債の返済に充てるお金で、元金の返済金とその利息
- 【扶助費】医療給付費や障がい者への援助費など福祉のためのお金
- 【物件費】委託料や使用料、光熱水費、燃料費、消耗品、備品購入費など
- 【補助費等】各種団体への補助金や交付金、保険料、謝礼金など
- 【繰出金】特別会計の収支不足額に対して繰り出すお金など



令和8年度の新規事業など

■地域振興施策

ふるさと納税推進事業 1億0,352万円
返礼品、ふるさと納税サイト運営経費等

地域おこし協力隊員配置事業 1,509万円
隊員4名配置経費
(内 観光振興分野の新規隊員1名を配置予定)

鶴居村音楽祭補助金 200万円
音楽祭開催に対する補助金

新分譲地販売促進事業 746万円
下幌呂分譲地登記等経費の他、販売促進事業の展開

■福祉・子育て支援施策

給食無償化事業 1,697万円
保育園・小中学校における給食費の無償化

出産・就学祝金 325万円
出産時(第1子10万、第2子20万、第3子以降30万)
就学時(第1・2子5万、第3子以降20万)

介護老人保健施設経営支援補助金 3,600万円
村内介護福祉施設に対する経営安定支援補助金

■保健・医療・環境施策

産前・産後サポート、産後ケア事業 266万円
助産院宿泊・デイケア利用助成、居宅訪問支援

太陽光発電区域認定事業 297万円
環境・景観等地域特性に配慮した太陽光発電区域の認定事業

■農林業施策

多面的機能支払交付金事業 2,795万円
地域の農地・水路の適正管理を支えるための交付金(令和8年度から制度拡充)

乳質改善奨励事業 4,500万円
良質乳生産支援補助金

道営草地・農道整備事業 1億2,729万円
草地整備・下久著呂・中幌呂地区農道改良事業、R9年度まで継続事業

林業専用道開設事業 3,350万円
林業専用道中田山林1線開設工事

■商工・観光施策

新ワインブランディング事業 458万円
ワインリニューアルに係るブランディングや販売促進

アドベンチャートラベル推進事業 550万円
鶴居村釧路湿原観光コンテンツ創出協議会への運営補助金

鶴居運動広場多目的交流施設管理運営事業 77万円
新キッズスペース、カフェ運営事業

つるい輝き飛躍応援補助金 150万円
商工事業者 設備投資・新メニュー開発等支援

■道路・住宅施策

中雪裡下久著呂線改修工事 2億0,000万円
急カーブ・急勾配の改良工事
(平成29年度からの継続事業)R4年度第1工区完成、R5年度から第2工区工事開始

下幌呂東7号線改修工事 3,700万円
下幌呂地区(夢の杜周辺)村道改修工事

■消防施策

特殊水槽付ポンプ自動車購入事業 1億2,176万円
鶴居消防署車両更新

防災情報等テレビ配信システム構築事業 2,145万円
防災情報等をテレビで配信するシステムの整備事業

■教育施策

鶴見台周辺環境整備工事 543万円
侵入防止柵整備、観察場所舗装補修

学校教育専門員配置経費 470万円
教育委員会に専門員1名配置、通級指導用務他

村民スポーツ・健康増進施設運営事業 3,489万円
指定管理費用(むらづくり鶴居)、トレーニング機器借上料

■行政

総合センター機能改善事業 2億8,621万円
総合センター機能改善工事
(R7~8年度2か年の継続事業)

庁舎・総合センター冷房設備整備事業 1億6,215万円
総合センターホール、庁舎執務室他、冷房設備整備工事

標準準拠システム運用等事業 5,140万円
行政システム標準化移行に伴う保守・利用料他

■令和7年度からの繰越事業

物価高対応生活支援金事業 436万円

戸籍附票システム・住民基本台帳システム改修事業 290万円

物価高対応子育て応援手当給付金事業 651万円